

平成 20 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 29 日

上場会社名 株式会社ACKグループ 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 2498 URL <http://www.ackg.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 廣谷 彰彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括管理本部長 長尾 千歳 TEL (03) 6311-6641

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 9 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月期第1四半期	2,422	80.0	△1,180	—	△1,144	—	△737	—
19年9月期第1四半期	1,345	—	△1,057	—	△1,040	—	△695	—
19年9月期	22,763	—	586	—	653	—	36	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年9月期第1四半期	△131	34	—	—
19年9月期第1四半期	△140	31	—	—
19年9月期	6	78	6	75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年9月期第1四半期	15,304	5,409	33.4	910	43
19年9月期第1四半期	11,733	5,009	40.4	1,010	07
19年9月期	12,967	6,208	45.5	1,051	29

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年9月期第1四半期	△3,228	△95	3,100	1,909
19年9月期第1四半期	△2,261	△143	2,094	2,126
19年9月期	713	△313	△704	2,133

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第1四半期末	
20年9月期第1四半期	円	銭
	—	
19年9月期第1四半期	—	

3. 平成20年9月期の連結業績予想 (平成19年10月1日 ~ 平成20年9月30日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	9,800	28.0	△650	—	△560	—	△370	—	△65	84
通期	24,500	7.6	590	0.5	660	1.0	280	774.4	49	82

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題や原油・原料高に伴う物価上昇懸念により、今後の景気動向に不透明感がでてまいりました。

しかしながら、当社グループを取り巻く経営環境は、中東諸国における建設ラッシュ、地球温暖化対策・環境汚染等の環境ビジネスの市場規模拡大など、国内外におけるコンサルタントの役割が広がり、ビジネスチャンスが拡大しております。また、既往事業である公共事業を主体とした建設コンサルタント業界においては、技術力の優劣による業界の二極化が続き、高い技術力を備える上位企業による寡占化傾向にあり、上位企業の受注規模は拡大しております。

このような経営環境のなか、当社グループにおける原油・原料高、為替・株価の影響は軽微であり、当第1四半期の業績は順調に推移致しました。受注面においては、受注が好調であった前連結会計年度からの繰越残高が潤沢であることに加え、当第1四半期の受注においても高い技術力・品質が認められ、国土交通省からの受注が大幅に増加するなど業界の二極化において優位グループの一翼を担っております。また、民間事業においては、温泉工事、解体工事における品質の評判が高く、顧客紹介による新規顧客の受注を伸ばしております。

当社グループは、売上高の割合が下期に偏る季節変動特性を有しております。一方で、販売費及び一般管理費は年間を通じて平均的に発生するため、第3四半期まで赤字決算となり、通期において黒字決算となります。前連結会計年度に連結子会社となった大成基礎設計㈱においても同様の特性を有しているため、季節変動特性による業績の振幅は拡大しております。

これらの結果、受注高は6,035百万円（前年同四半期比37.7%増）、受注残高16,651百万円（同20.5%増）、売上高2,422百万円（同80.0%増）となり、営業損失は1,180百万円（前第1四半期は営業損失1,057百万円）、経常損失1,144百万円（同経常損失1,040百万円）、四半期損失は737百万円（同四半期損失695百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は15,304百万円、負債合計は9,894百万円、純資産は5,409百万円となりました。

前連結会計年度において、連結子会社が増加したことに伴い、総資産、負債合計は大幅に増加しております。純資産につきましては、大成基礎設計㈱との株式交換等により、487百万円資本剰余金が増加しております。

なお、第1四半期は季節変動特性により赤字決算となるため、資本剰余金の増加額に比べ、純資産合計の増加額が少なくなっておりますが、通期においては、利益が計上されるため、純資産合計は増加する予定であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績は概ね予想通りに推移しており、平成19年11月14日に公表致しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
影響額の僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年9月期 第1四半期末〕	当四半期末 〔平成20年9月期 第1四半期末〕	増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	2,125	1,994	△130		2,193
受取手形及び 完成業務未収入金	1,565	1,957	391		2,395
有価証券	3	3	0		3
未成業務支出金	4,417	5,859	1,442		3,352
繰延税金資産	569	680	111		258
その他	321	302	△18		204
流動資産合計	9,001	10,797	1,796	20.0	8,408
II 固定資産					
有形固定資産	1,156	2,715	1,559		2,754
無形固定資産	638	732	94		746
投資その他の資産	937	1,058	121		1,058
固定資産合計	2,732	4,507	1,775	65.0	4,559
資産合計	11,733	15,304	3,571	30.4	12,967
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び 業務未払金	876	1,141	265		1,131
短期借入金	2,160	4,100	1,940		960
未払費用	255	276	20		425
未成業務受入金	2,566	2,421	△145		1,764
その他	494	726	232		1,184
流動負債合計	6,352	8,665	2,312	36.4	5,465
II 固定負債					
退職給付引当金	111	134	22		123
役員退職慰労引当金	231	247	15		299
負ののれん	14	546	531		565
その他	13	300	287		305
固定負債合計	371	1,228	857	230.9	1,294
負債合計	6,724	9,894	3,170	47.1	6,759

科 目	前年同四半期末 〔平成19年9月期 第1四半期末〕	当四半期末 〔平成20年9月期 第1四半期末〕	増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	501	503	1	0.4	503
資本剰余金	261	749	487	186.3	751
利益剰余金	4,049	4,003	△45	△1.1	4,782
自己株式	△90	△139	△49	54.2	△145
株主資本合計	4,721	5,116	394	8.4	5,891
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価 差額金	19	0	△19		5
評価・換算差額等合計	19	0	△19	△97.8	5
III 少数株主持分	268	293	25	9.4	311
純資産合計	5,009	5,409	400	8.0	6,208
負債純資産合計	11,733	15,304	3,571	30.4	12,967

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年9月期 第1四半期末〕	当四半期 〔平成20年9月期 第1四半期末〕	増 減		(参考) 前期末 (平成19年 9月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	1,345	2,422	1,076	80.0	22,763
II 売上原価	1,156	1,933	776	67.1	16,281
売上総利益	189	489	300	158.7	6,481
III 販売費及び一般管理費	1,246	1,669	422	33.9	5,894
営業利益又は営業損失 (△)	△1,057	△1,180	△122	11.6	586
IV 営業外収益	25	46	21	83.8	108
V 営業外費用	8	11	2	30.7	41
経常利益又は経常損失 (△)	△1,040	△1,144	△104	10.0	653
VI 特別利益	0	—	△0	—	0
VII 特別損失	1	1	△0	△0.6	49
税金等調整前四半期純損失 (△) 又は税金等調整前当期純利益	△1,041	△1,145	△104	10.1	603
税金費用	△326	△392	△65	△20.1	543
少数株主利益又は 少数株主損失 (△)	△18	△16	2	△12.4	24
四半期純損失 (△) 又は 当期純利益	△695	△737	△41	5.9	36

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年四半期末 〔平成19年9月期 第1四半期末〕	当四半期末 〔平成20年9月期 第1四半期末〕	増 減	(参考) 前期末 (平成19年 9月期末)
	金 額	金 額	金 額	金 額
I 営業活動による キャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純損失(△) 又は税金等調整前当期純利益	△1,041	△1,145	△104	603
減価償却費	92	109	17	405
売上債権の増(△) 減額	442	438	△4	499
たな卸資産の増(△) 減額	△2,147	△2,506	△359	△55
仕入債務の増減(△) 額	△48	10	59	△268
未成業務受入金の増減(△) 額	993	656	△336	△315
その他	△353	△359	△6	146
小 計	△2,062	△2,797	△734	1,014
営業外収入	23	26	3	66
営業外支出	△6	△9	△2	△38
法人税等の支払額	△216	△448	△232	△328
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,261	△3,228	△966	713
II 投資活動による キャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△18	△23	△4	△84
無形固定資産の取得による支出	△19	△47	△28	△115
連結子会社株式取得による支出	△104	—	104	47
その他	△0	△25	△24	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143	△95	47	△313
III 財務活動による キャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加額	2,160	3,140	980	△473
配当金の支払額	△63	△42	21	△60
その他	△1	2	3	△170
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,094	3,100	1,005	△704
IV 現金及び現金同等物に係る換算 差額	△0	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増加額	△310	△223	87	△303
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,437	2,133	△303	2,437
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,126	1,909	△216	2,133

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期(平成20年9月期第1四半期)

(単位:百万円)

	インフラ・マネジメントサービス	環境マネジメント	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	1,457	834	175	2,467	△45	2,422
営業費用	2,397	984	219	3,601	0	3,602
営業損失(△)	△939	△149	△44	△1,134	△46	△1,180

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 売上高、営業費用、営業損失は平成20年9月期から開示を始めたため、平成19年9月期第1四半期は記載しておりません。
 3 当第1四半期より、事業区分の名称を「建設事業」から「環境マネジメント事業」に変更しております。この変更による影響額はありませぬ。
 4 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は124百万円であり、これは内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

(参考) 前期(平成19年9月期)

(単位:百万円)

	インフラ・マネジメントサービス	環境マネジメント	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	18,176	4,132	527	22,836	△73	22,763
営業費用	17,518	3,989	450	21,958	217	22,176
営業利益	657	142	77	877	△290	586

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は278百万円であり、これは内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

[所在地別セグメント情報]

該当事項はありません。

[海外売上高]

該当事項はありません。